

平成 19 年 3 月 16 日

「仙台市立中等教育学校基本構想」

教育においては、どんなに時代や社会が変わろうとも「時代を超えて変わらない価値のあるもの（不易）」と「時代の変化とともに変えていく必要があるもの（流行）」がある。

21 世紀という新しい時代の教育を考えるに当たっては、教育の役割と不易の価値を踏まえ、時代の変化に対応していくことが必要である。

これからの中等教育では、次代を担う社会人として必要とされる基本的な内容を生徒に確実に身につけさせることが重要である。そして、生徒一人一人に対して、多様な能力・適性、興味・関心や進路希望に基づいた主体的な学習活動を促し、それぞれの個人としての資質を最大限に伸ばすため、選択幅の広い教育の機会を与えることが大切である。

仙台市教育委員会では、中等教育の一層の多様化を図り、児童・生徒や保護者の学校選択肢を拡大し、生徒一人一人の個性や創造性をより一層伸長する教育を展開するため、6 年間を見通した計画的・継続的な教育を行う中等教育学校を設置する。

I 中等教育学校の理念

一人一人が、多様な生き方の中で将来の夢や目標に向かって主体的に行動し、自己実現していくために必要な力と次代を担う力をつけさせるのが教育の役割である。そのためには、初等教育の基礎の上に、「自分で考える力」「自分の考えを伝える力」を育成することが重要である。何らかの課題に出会ったとき、主体的に対応するためには、教え込まれた知識ではなく、自ら獲得した知識（教養）が必要である。この知識とは、個人が社会と関わり、経験を積み、体系的な知識や知恵を獲得する過程で身につけるものであり、知的側面のみならず、規範意識、倫理性、バランス感覚、体力や精神力など多面的に構成されるものである。

市立中等教育学校では、6 年間一貫して体系的な教養を重視した教育を行い、『人格形成と学力形成を共に実現する教育』を目標とする。学問は、本来「いかに生きるか」という問いから始まり、その前提は「考える」ことであり、その目標は「チャレンジ」である。したがって、学問の成果は「いかに生きるか」「いかに考えるか」「いかにチャレンジするか」という問いに答えるものである。

このような教養を重視した教育の視点のもと、市立中等教育学校では、継続した教育活動の中で幅広い教養を身につける教育を展開し、将来の進路の実現に向けた目的意識の育成や得意分野の伸長など、「自立に向けた教育」を行い、さまざまな学問を学ぶ中で「個人がその資質・能力を見出し、伸ばす」ための期間に位置づけ、『可能性にチャレンジする』生徒を育成する学校を目指す。

II 基本構想

1. 設置場所

仙台市青葉区国見ヶ丘七丁目 144 番地（現仙台女子商業高等学校の敷地）

2. 設置形態

中等教育学校（1つの学校として、6年間一体的に中高一貫教育を行う学校）

3. 課程・学科

後期課程は全日制課程の普通科

4. 学 期

前期課程、後期課程いずれも二学期制（前期・後期）

5. 学校規模

学年定員140人（1学級35人編成で4学級）

収容定員840人（6学年で24学級）

6. 通学区域及び募集対象

通学区域は市内全域とし、小学校卒業予定者（仙台市在住）を募集対象

7. 入学者の決定

学習活動への適応能力、学ぶ意欲や適性等について面接、作文、適性検査等により
選抜

8. 平成21年度～平成23年度の募集

当初3年間は、前期課程（1年生）と後期課程（4年生）をそれぞれ募集する。平成24
年度からは、前期課程（1年生）のみ募集する。

III 教育構想

1. 学校像

学力形成と人格形成を共に実現し、個性重視の教育を行う。

(1) 確かな学力をはぐくむ学校

- ・全ての基盤となる基礎学力の修得を徹底する。
- ・基礎学力の徹底の上に「自分で考える力」「自分の考えを伝える力」を育成する。

(2) 人間性をはぐくむ学校

- ・個人の自立と確かなモラルを発現する教育活動を展開する。
- ・日本の伝統・文化に親しませ、日本人としてのアイデンティティを育成する。

(3) 個性、才能の伸長と創造性をはぐくむ学校

・一人一人の個性の伸長と才能の開花を図り、生涯を通じて、自ら考え自ら学び自らの責任において主体的に行動し、社会の進展に貢献できる創造的な力を養う。

(4) 生徒一人一人の進路希望を実現する学校

・計画的、継続的なキャリア教育（進路指導）を行い、将来の生き方や進路を考えさせ、高い志をもたせるとともに、生徒個々の興味・関心や能力・適性に応じた進路の実現を図る。

2. 育てたい生徒像

21世紀を担う、豊かな教養と魅力ある人間性を備えた生徒を育成する。

(1) 高い志をもち自らの能力と個性を伸長させ、自己実現を目指す自立した生徒

(2) 自律心と責任感をもち、自由で公正な社会を主体的に形成する生徒

(3) 社会の様々な場面や分野でリーダーとして活躍する生徒

(4) 日本人としてのアイデンティティをもち、広い視野と豊かな創造性をもって国際社会で活躍する生徒

3. 教育目標

教育理念「自立・共生・挑戦」と育てたい生徒像をもとに、教育目標を設定する。

- (1) 豊かな心と幅広い教養を身につけ、高い志を持って未来を拓く人間の育成
- (2) 論理的な思考能力や他者との相互理解を成立させるコミュニケーション能力を身につけ、社会に貢献できる人間の育成
- (3) 高い知性と魅力ある人間性を身につけ、社会をリードできる創造性に富んだ人間の育成
- (4) 国際社会を生きる教養ある人間の育成

4. 教育課程編成の基本方針

育てたい生徒（育てたい力）と教育目標を踏まえ、教育課程を編成する。

- (1) 主体的な学びを重視した柔軟な教育課程を編成する。
- (2) 高い知性や豊かな教養を育成する教育課程を編成する。
- (3) 体験的な学習を重視した教育課程を編成する。
- (4) 6年間の体系的な教育課程を編成し、基礎・基本の徹底を図るとともに、発達段階や習熟の程度に応じて、補充的な学習と発展的な学習を充実させる。
- (5) 6年間を、教育目標によって2年ごとに3期（「基礎」「充実」「発展」）に分け、「自己観察」「自己発見」「個性伸長」といった各期の目標に基づき教育活動を展開する。
- (6) 生徒の個性・能力や学習意欲を高めるために自然科学をはじめとする各分野で先端的な内容、専門性の高い内容など、より質の高い内容に触れることのできる教育活動の機会を拡大する。
- (7) 生徒が、様々な試行錯誤をしたり、体験を積み重ねること等を通じて、生徒一人一人の個性や創造性を培うため、生徒の自立を促す発達に即した「自己発見プログラム」を計画する。